

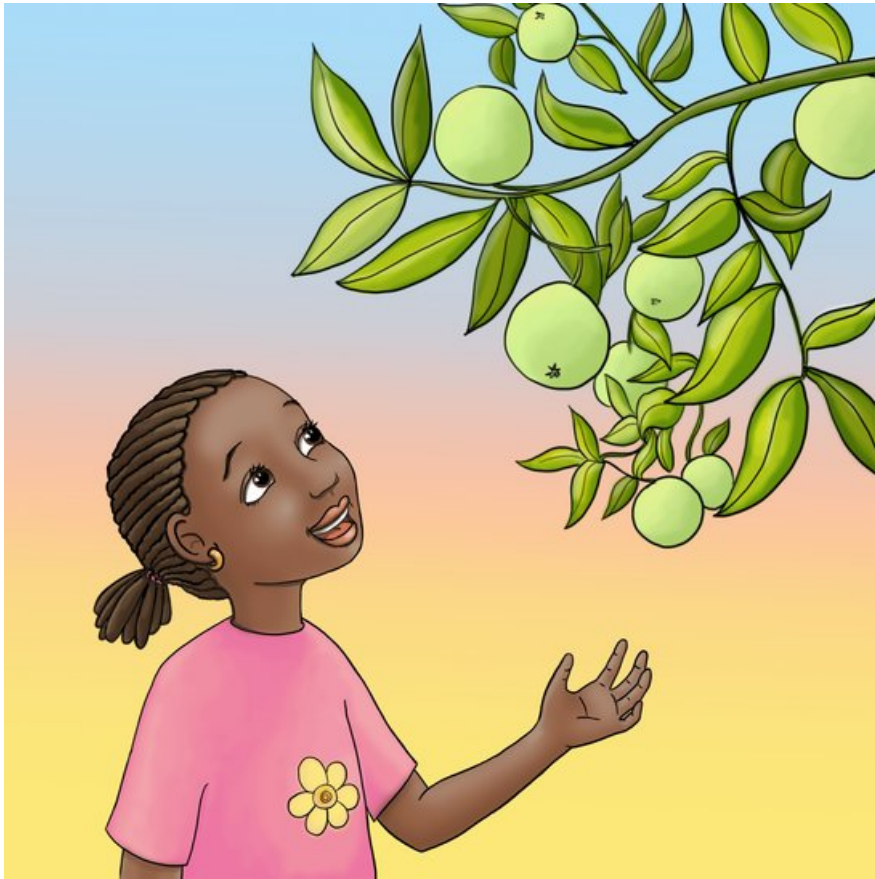


草木に話しかけるカライ

- ✎ Ursula Nafula
- 🎤 Jesse Pietersen
- 💬 Aiko Komatsu
- 💬 Japanese
- 📊 Level 2



この子はカライ、7歳の女の子です。カライの名前はカライの国の言葉のブクス語で「良いもの」という意味です。



カライは起きるとオレンジの木に話しかけます。「お願い、オレンジの木。大きく育って、私たちにたくさんの熟れたオレンジをちょうだいな」



カライは学校まで歩いて行きます。
歩きながら、カライは草に話しかけ
ます。「お願い、草たち、もっと濃
い緑になってね。カラカラに乾いた
りしないでね」



カライは野の花のそばを通ります。
「お願い、花たち、ずっと咲いてい
てね。私が髪に飾れるように」



学校では、カライは校庭の真ん中にある木に話しかけます。「お願い、樹木さん、枝を大きく広げてね。私たちが木陰で本を読めるように」



カライは学校の周りをめぐる生け垣にも話します。「お願い、強く育てね。悪い人たちが中に入ってこられないように」



カライは学校から家に帰ると、オレンジの木のところへ行き訪ねます。
「オレンジの木さん、あなたの実は熟れたかしら？」とカライは尋ねます。



「オレンジの実はまだ青いわ」と、
カライはため息をつきます。「また
明日ね、オレンジの木さん」とカライ
は言います。「多分その時には私
のために熟したオレンジを用意して
くれるわよね！」



Storybooks Canada

storybookscanada.ca

草木に話しかけるカライ

Written by: Ursula Nafula

Illustrated by: Jesse Pietersen

Translated by: Aiko Komatsu

This story originates from the African Storybook (africanstorybook.org) and is brought to you by [Storybooks Canada](http://storybookscanada.ca) in an effort to provide children's stories in Canada's many languages.



This work is licensed under a Creative Commons
[Attribution 4.0 International License](http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/).